



平成26年11月15日

2	3	面	ツツザキヤマジノギク観察会
4	面	町史探訪・松川町文化祭	
5	面	みなぞ仲良・青年の家たより	
6	面	スポーツ・情報	
7	面	なかまたち・すぼっと	
8	面	こどもの詩・短歌・川柳	
		町民運動会	
		視点・ペンペン草	



# まつかわ百景 ⑧5

## 「赤岩」(柄山)

紅葉に包まれる赤岩。  
夕日を受けて赤く反射するところから名付けられたと伝わる。

今年で松川町駅伝大会は30回記念をむかえる事となりました。この様に長い間駅伝大会を継続して開催する事が出来るのも、毎年協力していただいている関係団体・企業の皆様、そしてこの駅伝大会を築きあげた諸先輩方の努力のおかげだと思います。誠に有難うございます。

又、この駅伝大会を経験した方々が全国規模の陸上大会で素晴らしい結果を出されている事も非常に嬉しく、誇りに思う所であります。

さて、私が公民館体育館部員となり駅伝大会に関わる様になってから5年になります。まだまだわからない事だらけで先輩方に助けをいただながら活動しています。そんな私でも一つだけわかった事があります。それはこの駅伝の「魅力」です。町内6区間をたすき

## 主張

### 30回記念 松川町 駅伝大会を迎えて

をつなぎながら走る。これはけつして容易な事ではありません。息を切らし立ち止まりそうになりながらも仲間からの応援を受け、たすきをつないでいき、最後のゴールでは互いに完走をたたえあい、どのチームも笑顔で大会を終えます。一本のたすきをつなぎ、仲間との絆を深める事こそが駅伝の魅力であると感じます。それは、私達も例外ではありません。全チームの完走、笑顔が無事に見終わり、慰労会では最高の一杯をいただきます。その時に私達もチームの絆を感じます。

この30年間途切れる事なく駅伝大会がこの様に開催できている事、大変嬉しく思います。この記念大会を一つの集大成として次の31回目へ続けたすきとしたいと思えます。

中央公民館体育部副部長  
高坂 政憲

# キヤマジンノギク

## 第6回地域を知る講座

### まさにツツザキ

全国でも、長野県天竜川流域のごく限られた場所にしか生息していない希少な植物が、町内で見られます。それが「ツツザキヤマジノギク」という在来植物です。

公民館ではこのツツザキヤマジノギクの観覧会・保護活動を、11月1日(土)に行ないました。

ツツザキヤマジノギクは10月から11月に花を咲かせます。観覧会ではたくさんのお花を見ることができました。花びらを見てみると、その名の通り筒状をしており、めずらしい植物です。全てが筒状というわけではなく、先が細かく割れたものなど、花びらの形が変化に富んでいることも特徴です。日当たりのよい磯河原に生息し、一つの株で一度だけ花を咲かせ、枯れてしまいます。

この植物は、長野県レッドデータブックの最も絶滅の危険性の高い種(絶滅危惧ⅠA類)であり、長野県の条例の保護対象種(指定希少野生動物)です。また、松川町の天然記念物に指定されています。このとおり、とても希少で貴重な植物なのです。



筒状の特徴的な花を咲かせる

### 町内の保護活動

このような貴重な植物を守ろうと、松川町では社会教育委員のみなさんが保護活動を行なっています。今年で4年目になります。当日、その活動が発表されました。天竜川の河原には、ツツザキヤマジノギクの生息を脅かす特定外来生物のハリエンジュ(ニセアカ



社会教育委員の皆さんの活動も発表されました

シア)やオオキンケイギクなどが生えています。それらの植物を春から秋にかけて3回ほど、日曜日の朝、保護する場所を決めて駆除しています。しかしこれらは、一度駆除してもすぐに生えてくるため駆除には毎年とても苦労されています。それでも、保護活動を始めたところ、ツツザキヤマジノギクがとて多くなり活動の成果が目に見えてわかったそうです。そのことが社会教育委員の皆さんの「保護したい」という気持ちをさらに高め、後世の子どもたちに残していきたいと活動を続けています。

また、松川青年の家の松川プログラムでも保護や観覧を企画し活動しています。

# 守るっ！ツツザ



区画を決めて保護している

今回のツツザキヤマジノギク観察会は「地域の宝を住民の皆さんに再発見してもらい、

## 観察・保護活動を体験



3つのグループに分かれて説明を受ける

守っていききたい」という思いから、公民館の「地域を知る講座」として、天竜川上流河川事務所との共催で開催しました。当日は雨降りでしたが、46名の方々が集まりました。講師には木下進先生、堤久先生、土田勝義先生にお願ひし、説明をしていただきました。  
ツツザキヤマジノギクはキク科の二年生草本で基本的には発芽から2年目で開花します。花を咲かせたその下には、1年目の芽であるロゼットもあちこちで見られ、これらが来年(条件によっては再来年)花を咲かせます。  
観察会では、今年花を咲か

せている株の数、そしてロゼットの数を数えるモニタリング調査の体験をしました。保護活動をしている場所の開花株数は、平成24年度には544株。平成25年度には1,150株。そして今回の調査では1,749株と増加しています。開花まで2年かかる花のため単純計算はできませんが、それでも保護活動の成果が出ています。

この日は観察だけでなく、特定外来生物オオキンケイギクの駆除も体験し、みんなで一体となってツツザキヤマジノギクの保護を行いました。



これがツツザキヤマジノギクのロゼット



駆除したオオキンケイギクは持ち出し厳禁

より多くの町民の皆さんにツツザキヤマジノギクのことを知っていただき、そして保護活動がもっと広がり、将来にも残されていくことを願うばかりです。

# 果樹発展の背景にある 養蚕の盛衰を巡る

## ～町史探訪の会～

町史を読んで町の歴史を学んでいる「町史探訪の会」では、来年、松川町が果樹100周年を迎えるにあたり、町史第1巻にまとめられている果樹の歴史を学ぶことにしました。しかし、なぜ松川町で果樹が盛んになったのか？その背景にある養蚕の発展と衰退も知っておこうと、まず養蚕について学ぶことにしました。

そこで、町史を読む前に信州の養蚕を学ぼうと、10月17日に県内を探訪しました。養蚕が盛んであったころ、信州の一大養蚕地帯であった上田市や、世界一の生糸生産地であった岡谷市などを巡り、養蚕業や蚕糸業の歴史・技術・当時の人々の思いなどを学びました。

今回も、町資料館の酒井幸則さんの説明を聞きながら旅をしました。お蚕様をねずみから守るため、ねずみの天敵である猫を神としてまつたところ、その1つの上田市保野・塩野神社を見学しました。神社には「鼠除韓猫明神」がまつられています。「鼠除」はそのままで、猫が大陸(朝鮮半島)から入ってきたことを意味しています。岡谷市では、今年8月にリニューアルオープンした岡谷蚕糸博物館を訪れ、館長の話を聞きました。また博物館内で生糸生産を行なっている会社の社長からも説明を受け、蚕糸業について学びました。松川町の昔も養蚕がとても盛んでしたが、そこから果樹へと移っていったのです。

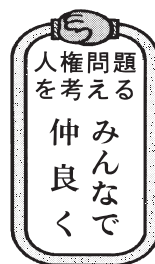


博物館内では、糸繰りの様子も見学できる

## 第21回 松川町文化祭

10月24日(金)・25日(土)・26日(日)  
松川町民体育館





### あたたかな一言

松川中 1年 熊谷 咲哉

僕は、学校やシニアリーグや家で、いろいろな人に助けられながら生活をしています。それが、実感できるようになったのは、つい最近です。

学校では、具合が悪くて休んだ時に、「大丈夫？」と聞いてくれたり、「もし俺でよければ、保健室までついてきてやるに。」と声をかけてくれたりします。

だから、ぼくも友達に何か相談をされた時は、この友達のような接し方をしていきたいと思うようになりました。

次は、シニアリーグのことです。僕は、2・3年生の先輩の中で練習をしています。今では、練習やチームの雰囲気慣れましたが、入団当初は、ほんとうに先輩たちが、優しく教えてくれました。守備でわからないことも教えてくれました。さらに、監督に叱られた時も、先輩たちに、「気にするなよ。」と言われました。その一言がすごくうれし

くて、こんな1年生の僕でも気を遣ってくれるんだなあと感じます。1年後は、僕も先輩としてシニアに入ってくる1年生には、優しい一言をかけたと思います。それが連鎖となつてつながっていくのだと思います。

シニアを終えて、家に帰宅すると、以前に肘を痛めた僕を気づかって親が

「肘は痛くない？」と聞いてくれます。「痛くない、大丈夫だよ。」と言うと「よかったです。」と安心して笑顔になります。試合を見に来てくれた時は、「今日は、よくがんばったな」とほめてくれます。

また、学校のことも「今日、学校楽しかった？」と心配してくれています。

ぼくが、今まで周囲の人からかけてもらった一言一言は、周囲の人達にとつては、小さく、さりげないかもしれませんで、でも受けとる僕からすると、それは大きな大きな温かい一言です。

僕は、親切であたたかな人達に支えられています。僕も、人をあたたかくする一言を、いつもかけられる人でありたいです。

### 生涯教育のメッカ

## 松川青年の家だより

（その三十七）

### 秋の天竜川

夏の間、太陽がかんかんと照りつける河原の中を気持ちよい清流が流れていた天竜川にも秋がやってきました。その頃は、青々と茂っていた河原のススキやヨシの穂を気持ちよさそうに秋風が渡つていきます。松川青年の家では、この季節の河原生物たちの生活を観察するために天竜川に出かけました。

### ツツザキヤマジノギクの株が

松川青年の家では今年の3月、松川プログラムの特別企画として天竜川の河原に町の天然記念物「ツツザキヤマジノギク」の種をまきました。そこは、昨年国交省天竜川上流河川事務所の計らいで、今までに表面に積もった土と草をはぎ取って、砂と石だけの河原にしてくれたところです。土が多いとツツザキヤマジノギクは他の植物に負けてしま

い滅びてしまうので、この花を守り増やすためにやってくれたのです。そこへ、私たちが種をまいたのです。その日に参加したみなさんは平らな場所を選んで種をまき、自分のツツザキヤマジノギク畑を作ったのです。

今回、久しぶりにその場所を訪ねてみました。種をまいた畑に到達するや否やみんなの口から「やった。出てる、出てる、元気な株がいっぱい出ている。」「花が咲きそうなものもあるよ。」という声が聞こえてきました。

3月に参加した4歳の琉くんの畑にもたくさんのお母さんが育っていて、お母さんと一緒に喜んでいました。娘さんが種まきをした西川さんの畑のツツザキヤマジノギクも元気よく育っていて、今回参加できなかった娘さんの代わりに参加したお父さんは、嬉しそうに写真を撮



種から育ったツツザキヤマジノギク

撮っていました。小さな種から芽を出し、冬の寒さにも耐えて大きく育っている姿には、たくましさを感じました。

### 長旅の途中の小鳥たち

ノギクの観察のあと、私たちは河原の高い草のつぺんに止まっている鳥を見つけた。全身が薄茶色をしたホオジロみたいな鳥です。そこから急に飛び立つたかと思うと、ひらひらと忙しく体を翻し、また元の草の頂上に止まります。望遠鏡で見ると「ノビタキ」という鳥の雌だということが分かりました。この鳥は春から夏の間、高原の草原で生活していて、冬には暖かい地方（東南アジアなど）で暮らします。私たちが観察したこの鳥はそのための長い旅の途中だったのです。無事目的地へ着いて、来年もまた元気に帰っておいでと励ましてやりたくなりました。このように「秋の天竜川」講座では、この時期の生物たちの生きざまから、命のたくましさを見せてもらった一日となりました。

# 寒さにそなえて

## 身体を作ろう!!

### 第8回南信州アルプス まつかわロードレース大会

10月5日(日)第8回南信州アルプスまつかわロードレース大会が行なわれました。町内の方の上位結果は次のとおりです。

- 10 km 男子総合
  - 第1位 米山 祐貴
  - 3 km 男子総合
    - 第10位 中島 快都
  - 3 km 女子総合
    - 第7位 佐藤 悠花
  - 10 km 高校生く40歳未満男性
    - 第1位 米山 祐貴
  - 5 km 60歳以上女性
    - 第3位 小林よし子
  - 3 km 中学生女子
    - 第6位 小山 美月
  - 3 km 小学生男子
    - 第4位 中島 快都
  - 3 km 小学生女子
    - 第5位 佐藤 悠花

### 第43回 南信少年柔剣道大会

10月12日(日)岡谷市民総合体育館にて第43回南信少年柔剣道大会が行なわれました。

道大会剣道の部が行なわれました。

#### 個人戦

- 小学5・6年女子の部
  - 第3位 加賀田 穂
- 水野 佐映

#### 団体戦

- 小学校高学年男子の部
  - 第3位 松川 A
    - 先鋒 加賀田 穂
    - 次鋒 荒川 想太
    - 中堅 北原 明人
    - 副将 水野 佐映
    - 大将 平島 颯人
- 中学生女子の部
  - 優勝 松川中学校 A
    - 先鋒 宮澤 芽生
    - 中堅 荒川 音花
    - 大将 橋場 萌



出場した大島剣道クラブの皆さん

### 平成26年度松川町夜間 ソフトボールリーグ

10月18日(土)に平成26年度松川町夜間ソフトボールリーグの閉会式が行なわれました。

#### Aリーグ

- 優勝 諏訪形
- 準優勝 大栢
- 第3位 堤原バズーカ

#### Bリーグ

- 優勝 檜原
- 準優勝 城北 A
- 第3位 増野

### 第19回松川町オープン ミックスバトミントン大会

10月19日(日)に松川町町民体育館にて第19回オープンミックスバトミントン大会が行なわれました。

#### 松の部

- 第1位 佐々木章吾・佐々木美聡 (シモザイル)
- 第2位 北林 大輝・松下 佳世 (福与B C)
- 第3位 中村 彰彦・上島 琴江 (福与B C)

#### 川の部

- 第1位 昭美・相津 知子 (シモザイル)
- 第2位 山田 和浩・尾曾 和美 (チームハンズ)
- 第3位 広沢 年彦・佐藤 優 (福与B C)

#### 町の部

- 第1位 今井 和芳・山岸 祐子 (福与B C)
- 第2位 市瀬 智章・福島めぐみ (福与B C)
- 第3位 池上 住弘・林 暁 (福与B C)

### 平成26年度 壮年ソフトボールリーグ

10月30日(木)に平成26年度壮年ソフトボールリーグの閉会式が行なわれました。

- 優勝 城山クラブ
- 準優勝 スターキング
- 第3位 上片桐球友



### 平成26年度松川町 シニアソフトボールリーグ

11月11日(火)平成26年度松川町シニアソフトボールリーグの閉会式が行なわれました。

- 優勝 上片桐
- 準優勝 上新井
- 第3位 名子

### 平成26年度 OBソフトボールリーグ

平成26年度OBソフトボールリーグの結果は次のとおりです。

- 優勝 大島
- 準優勝 上新井
- 第3位 上片桐

毎月第3日曜日は

家族ふれあう

「家庭の日」

# なまはろう今

## 美の秘訣は学習意欲です!?

### 花時間

花時間という季刊誌をご存知ですか？表紙も内容も、色鮮やかな花々であふれている美しい本です。その美しさに自分達をかさねて？会の名前にしたのが、学習グループ「花時間」です。

以前、町の保健師をされていた熊谷さんの後押しで発足しましたが、ちょうど介護保険制度が始まる頃で、自分達の今後を



食事も学習の一環です

考える良いきっかけにもなりました。

熊谷さんが退職されて少しの間ブランクがありました。平成23年に再び活動を始めました。今回指導してくださっているのが元保健師の何原さんと元栄養士の林さん。

学習の内容は、更年期障害、介護、福祉、社協の活動、保健師さんとの交流など、その時々で多岐にわたります。若い保健師さんなどは、口八丁手八丁の美しいオバさん達にタジタジになることも…。

「何事も経験だに、ガンバリないよ」



晩ごはんはプロ仕様

内容の濃い学習の前には楽しみがあります。林さん何原さん手作りの夕食。カリリ、塩分、糖分、油分のすべてが計算された健康食は、ベテラン主婦の皆さん納得の美味しさ。美味しさだけでなく料理のヒントもあり勉強になります。

毎回、学習内容を考えてくれるお二人のご苦勞に感謝しつつ、勉強に勤しむ気持ちいっぱいの花時間の仲間達です。

## すぽっと 町に残る城・館跡をめぐる

第5回地域を知る講座

松川町は、現在12か所の城・館跡が確認されています。古城（ふるしる）・名子城・名子館・城山・城・沼ノ城・北ノ城・船山城・桃井城・福与城・御所平そして台城です。昨年は地域を知る講座で台城を見学しました。今年も、10月28日に参加者10名の皆さんと残り11か所を資料館酒井幸則さんのお話を聞きながら、見学しました。

学習しました。当時は、名子館と名子城（城山）の位置関係に見られるように、領主は平坦で肥沃な名子平のほぼ中央部に館を構え、北西背後の一段高い台地に砦の役目をする名子城を置きました。そして敵の攻撃を受けた場合、名子城へ移動して防衛にあたっていたようです。また、緊急時の領民の避難場所にもなっていたようです。このような配置は、

する分流である名子氏、大島氏にかかわる城館跡を

船山城にもみられます。台城・名子城（城山）・船山城・桃井城は、案内板が立てられ、資料館や地域の方々によって整備されています。しかし、古城、城、福与城などは、現在も当時の堀や土塁跡が残されていますが、雑木雑草に覆われ、説明を受けないと確認できない状況です。整備されるとういなあと感じました。



城の堀跡

## こころの詩

わたしの家ぞく  
中央小2年 伊藤彩藍

わたしの家ぞくは  
たからもの  
かならずわたしを  
大じにしてくれる

わたしの家ぞくは  
たからもの

たからもの  
いつもここに  
え顔にしてくれる

わたしの家ぞくは  
たからもの

わたしの家ぞくは  
たからもの

さいきん  
中央小2年 松下愛子

さいきん  
おてんとさまが  
おこつている

大雨もふつたし  
火山のふん火もあつたし  
台風十九こつも来たし  
すつこいおこつていたな

## 短歌

中平 恵子(郷原)

中二の子新幹線を乗り継いで  
一人で来たる母のふるさと

段丘の休耕の地にメガソーラー  
夏日を浴びて整然と建つ

朝夕に眺める南アルプスは  
自然遺産に輝きを増す

灯りを消せば顔の回りにブーッとくる  
時節はずれの弱き蚊の羽音

ホテルより見える議事堂凛然と  
政治の原点ここより始まる

## 川柳

熊谷 正子(宗源原)

野良猫に  
信賴されて おどせない

五感にも  
リフオームしつつ 今を生き

またやつた  
慌て者めと 腰が言う

聴かせたい  
見せたい友は 逝つたきり

天国の  
扉は笑顔で 押すつもり



「まちの石仏」<sup>36</sup>  
 「白衣観音」(部奈・観寿庵跡)  
 石造りとしては珍しい石造白衣観音坐像。



# みんながんばれ 上片桐 町民運動会



10月12日(日)に上片桐地区町民運動会が行われました。台風が近づきつつありましたが、過ごしやすい秋空の下競技参加者に沢山の声援が送られました。



## コラム

最近、歩行者分離式のスクランブル交差点が増えてきました。事故を少なくするために車と歩行者の信号を分離したのだらうと思っ  
 ていますが、少し前に歩行者としてスクランブル交差点を渡ろうとした時のことです。よく通る道なので次が歩行者用信号が青になることがわかっていました。信号待ちの1台目の車が右折しようとして少しづつ出ようとしていましたが、信号が変わらないのでそこで止まっていた後ろから、2台目の車が直進して行ってしまったのです。赤信号であるわけで信号を確認せず行ってしまったのです。私は車の動きを見ていたのでまだ渡ろうとしなかったのですが、これが子どもやお年寄りが渡ろうとして1台目の車の影になって2台目の直進車にひかれたら...と思うと恐ろしくなりました。

歩行者分離式や時差式などまだ慣れていないと見切り発進をしうになってしまうこともあると思います。信号機は確認してから発進するのはもちろんのこと、歩行者や他の車、バイクなどにも気をつけて交通安全に心掛けなければいけないと感じました。

宮崎亜希子

公民館報  
 「まつかわ」  
 第 613 号  
 平成26年11月15日  
 発行所 松川町公民館  
 責任者 矢澤 登  
 編集人 公民館編集部  
 Tel 36-2622  
 e-mail: c.kouminkan@matsukawa-town.jp  
 飯田市上郷黒田121  
 印刷所 龍共印刷(株)

再生紙を使用しています。